

当院小児科における心理士の仕事



心理士とは

心理学や臨床心理学に基づく知識や技術を用いて、その人の問題にアプローチをする、**心の専門家**です。

Q.倉敷成人病センターの心理士のもとにはどんな子が来ているの？

- ことばが遅れている
- かんしゃくを起こす
- こだわりが強い
- 登園・登校しづらい
- 集団に適応できない
- 勉強についていけない など



日常生活の中で、いろいろな困り事を抱えられたお子さまと、そのご家族が来院されています。

Q.心理士は何をしているの？

医師の指示のもと心理検査やカウンセリングを行っています。その中でお子さまの特徴を評価し、苦手なことや得意なこと、成長していることを共有し、困りごとや問題への対応をお子さまやご家族と一緒に考えていきます。



当院で実施している心理検査の1つに『新版K式発達検査2020』があります。

新版K式発達検査は、子どもの心身の発達度合いを多面的に評価し、療育などの子どもの発達支援に役立てる検査です。

子どもの発達水準の偏りを以下の3領域から評価します。



『姿勢・運動』 (P-M)

例：どんな運動ができるか

『認知・適応』 (C-A)

例：形の理解はどうか

『言語・社会』 (L-S)

例：ことばの理解はどうか



積み木など子どもがよく遊ぶものを検査道具として使用し、**子どもの自然な行動が観察しやすい検査**となっています。

検査結果だけでなく、**言語反応、感情、動作、情緒**なども含め総合的に判断していきます。

当院では、検査だけでなくご家族からの聞き取りやご家族とのやりとりも大切な情報としています。

Message

上記にご紹介したような心理検査は診断の参考とはなりますが、あくまでも現在の発達水準を把握し、結果の読み取りから適切な指導や支援を考えるために活用されるものです。結果にあらわされた数値を見てさまざまな感情が生まれ、複雑なお気持ちになられることと思います。ただ、数値にとらわれず、子ども達が発達していく力を信じ、子育てをしていきたいですね。お子さまのことで気になることがございましたらお気軽にご相談ください。

倉敷成人病センター
診療支援部 リハビリテーション科 心理士